

# 令和3年1定 一般質問 開催状況

開催年月日 令和3年3月12日

質問者 日本共産党 宮川 潤 議員

担当部課 総合政策部交通政策局交通企画課

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p><b>五 地方交通について</b></p> <p><b>(一) 地方交通網の維持存続について</b></p> <p>JR北海道は新たな法改正により、国からの支援で、新幹線開通に合わせたビル建設等の大規模開発を予定しています。道民生活と道内産業を支える地方路線を守るために支援を生かすべきではありませんか。</p> <p>特に、留萌本線、根室本線などの単独では維持困難と決めた路線の維持存続に努めるべきであります。知事は、新幹線を優先するJR北海道を転換させ、留萌本線、根室本線をはじめ、地方路線を守る姿勢を道民に明らかにすべきですが、いかがですか。</p> <p><b>(二) コロナ禍における計画見直しについて</b></p> <p>北海道交通政策総合指針は、コロナ禍での乗客減から回復を根拠なく期待していますが、現実の人の移動と事業者の経営を踏まえ、新たな観光のあり方や障がい者、高齢者へのきめ細やかなサービスなど、今後の交通のあり方を示すものへと見直しが必要です。知事の今後の交通のあり方についての考えを伺うとともに、指針の見直しについて、お尋ねします。</p>	<p><b>【交通企画監】</b></p> <p>次に、地方路線に関する協議についてであります。現在、JR北海道では、国の監督命令に基づき、経営改善に向けて、長期経営ビジョンや中期経営計画に盛り込んだ取組を進めているところであり、JRの事業範囲の見直しに当たりましては、それぞれ異なる事情を抱える沿線地域の方々のご意見を踏まえながら、道と地域が一体となって、JRとの検討・協議を進めていくことが重要と考えております。</p> <p>道といたしましては、今後とも、交通政策総合指針の考え方にに基づき、沿線自治体はもとより、関係者の皆様と地域交通の確保に向けて、十分議論を尽くすとともに、JRに対し、地域と真摯な姿勢で対応するよう求めてまいります。</p> <p><b>【知事】</b></p> <p>最後に、北海道交通政策総合指針についてであります。道では、本道のさらなる発展を支える交通ネットワークの実現に向け、各般の施策を展開してまいりましたが、本年度は、指針の推進に関し、策定後3年間にわたり集中的な取組を進めてきた重点戦略の最終年であることから、施策の推進状況について点検や評価を行う運輸交通審議会などを開催し、委員からは、ポストコロナ時代を見据えた新たな対応の必要性をはじめ、本道の交通を取り巻く継続的な課題の解決についても着実に進めていくことが重要であり、来年度以降の重点戦略について検討を進めるべきといったご意見をいただきました。</p> <p>道としては、こうしたご意見を踏まえ、新たに交通事業者をはじめ、学識経験者や経済団体の皆様などで構成するワーキンググループを設置して新型コロナウイルス感染症拡大への対応はもとより、利用者の減少や運転手不足など、様々な課題を十分に踏まえた上で、中長期的な視点に立った議論を進め、新たな重点戦略案をとりまとめたところであり、今後、議会議論を踏まえて、年度内に成案を得てまいる考えであります。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨